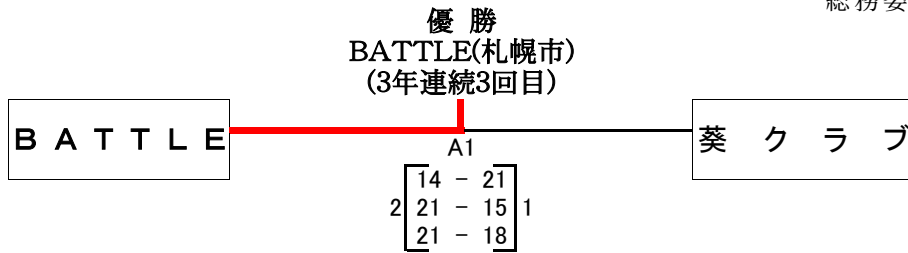


第30回 道央クラブバレーボール連盟 9人制選手権大会

平成25年1月27日(日) 札幌市清田区体育館

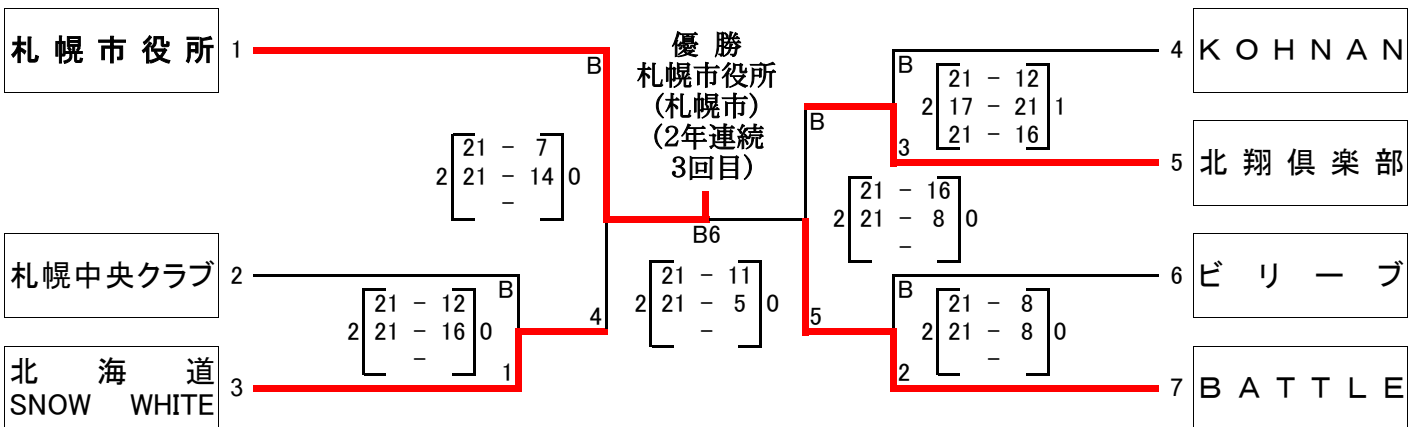
大会会長 吉川 貴盛
 大会委員長 名畑 五朗
 競技委員長 佐藤 充昭
 審判委員長 佐藤 利香
 総務委員長 津田 良二

【男子の部】



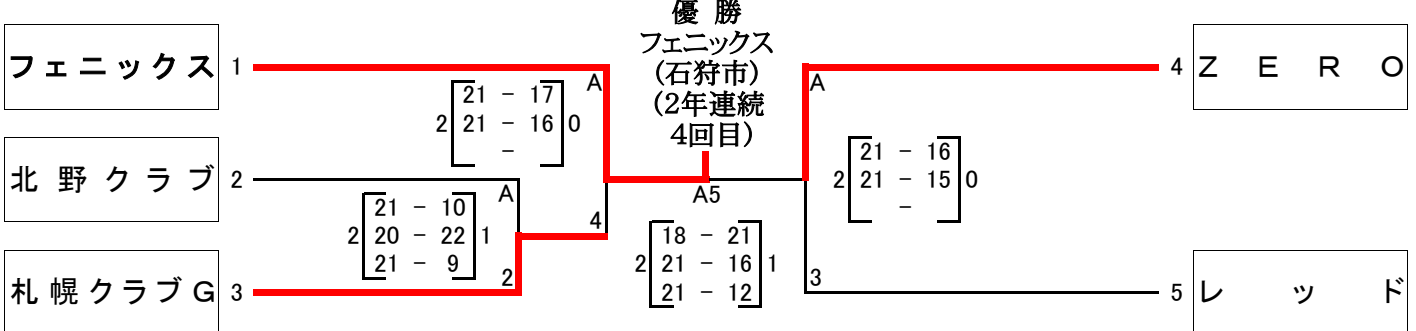
戦評(9人制男子決勝戦)1セット目、葵クラブは10番菊池のサーブで相手を崩し主導権を握る。対するBATTLEもエース3番原を中心に必死に挑戦する。しかし最後まで葵クラブ優勢のまま終盤を迎え、最後も10番菊池の連続サービスエースでセットを先取る。2セット目は序盤葵クラブにミスが続きBATTLEがリードを広げる。中盤接戦となるもBATTLEは前衛のポジションを代えたのが功を奏し、一気に突き放しセットを取り返しセットカウントを対とする。フルセットまでもつれた決勝戦の最終セット、互いに攻めも攻めたり、守りも守ったりと一歩も引かず大接戦となる。最後の最後にBATTLEが一歩抜き出しこのセットを取って3年連続3回目の優勝を飾る。

【女子の部】



戦評(9人制女子決勝戦)1セット目、多彩な攻撃を展開する札幌市役所に対しBATTLEはブロック陣、レシーブ陣共に翻弄され大きく点差が開いてしまう。対するBATTLEも3番森、4番高橋両エースにボールを集めるが最後まで差を埋められず札幌市役所が先取る。2セット目も札幌市役所の8番角田、14番中村両エースの勢いは止まらず、更にそれに絡んでセンター陣の攻撃も増え一気に点差を広げる。何とか必死のレシーブで粘って挑戦しようとするBATTLEだが最後まで札幌市役所の勢い止められずこのセットも失い札幌市役所が2年連続3回目の優勝を飾る。

【4号球の部】



戦評(9人制4号球決勝戦)第1セット、序盤からZEROは多彩な攻撃で点を重ねた。フェニックスはエースの1番荒津にボールを集めて挑戦し接戦となったが最後はZEROのエースの5番高橋の活躍により21-18で先取した。第2セット終盤まで一進一退の攻防が続いたがサービスエースで流れをつかんだフェニックスが21-16で取りセットカウントを対とする。第3セットフェニックスはサーブでZEROのレシーブをみだし点を重ねてリード、対するZEROは5番高橋にボールを集め挑戦したが流れを変えることができずフェニックスが21-12と勝利し、2年連続4回目の優勝を飾った。

【成績結果】

男子の部	優勝 BATTLE (札幌市)	準優勝 葵クラブ (札幌市)	
女子の部	優勝 札幌市役所 (札幌市)	準優勝 BATTLE (札幌市)	3位 北海道SNOW WHITE (札幌市)
4号球の部	優勝 フェニックス (石狩市)	準優勝 ZERO (札幌市)	3位 レッド(当別町)
			札幌クラブG (札幌市)